

京都リサーチパーク

国際会議場で結婚式

限一組 定学会の閑散期対策

【京都】京都リサーチパーク（KRP、京都市下京区、浅井邦茂社長、075・322・7888）は、自社施設を生かしたブライダルビジネスを展開する。学会の閑散期対策や一般的な稼働率向上策として、学術分野以外の利用促進が狙い。通常は学会や国際会議に使う大ホールなどの施設を活用し、インテリジェントなイメージの結婚式としてアピールする。

ブライダルビジネスの「イダルサービスのTNC 都市中京区、木村俊昭社長、075・213・7312」の協力を得て事業化する。国際会議などに使う格調ある施設で、最大230人収容できるサイエンスホールや同300人収容のアトリウム、中庭、レストランなどを活用する。一日一組限定で受け付ける。



普段は国際会議に使われるサイエンスホール

結婚式は国際会議に使われるサイエンスホール
とはTNCが受け持ち、
結婚式の運営や演出な

インターネットなどを通じて結婚式場としてPRする。また、普段は学会向けなどに貸会場営業を行っているKRPのコンベンションチームが、学

会誘致などと併せて営業活動を行う。当面、年間10組の挙式が目標で、このほど第1号が決まったという。

KRPは89年にオープンしたりサーチパーク。会議室や国際会議に利用できる大ホールを備えており、年間約1000の会議が開かれている。

大型の学会や国際会議の開催は春秋に集中しがちで、夏冬や日曜日の開催は少ないなど需要の変動が大きい。そこで、安定した事業を検討してきた。